



さくら

2020 新春

発行
社会福祉法人 東桜会
第67号

〒420-0962
静岡県葵区東 527 番地の 1
特別養護老人ホーム 麻機園
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

新年あけましておめでとうございます！

「お正月のお楽しみ」



今年は例年になく暖かなお正月のなか、麻機園では毎年恒例の新春の集いが開催されました。

園長の「今年は、令和になって初めてのお正月です。今年の冬は例年になく暖かいです。油断して風邪をひかないように健康に気を付けてください。」と新年の挨拶で始まり、お屠蘇で乾杯。顔が少し赤くなったところで、子年生まれの年男・年女の8名の方の今年の抱負を伺いました。「今年も一年健康に過ごす」「笑顔で楽しく過ごしたい」などと元気に話されました。続いて職員の年男・年女の方々にも今年の抱負を聞くと全員が「ダイエット」と答えました。

入所者、職員共に子年は「健康にチュー意して過ごす！」のようです。

新春の集いのお楽しみは職員によるアトラクションです。最初は獅子舞。入所者の頭をパクパクと噛みつき（神が付く）邪気払いを席の間を回り、一年の健康を願いました。

その後職員五名によるバンド演奏を行い、ダンサーも加えて入所者と懐かしの音楽を楽しみました。

笑う門には福来る。新春よりお楽しみ頂いた皆様が今年一年健康で楽しく過ごされますように。

麻機園 寮母 佐藤尚哉



「麻機バンドを結成しました！！」

「新春のつどい」で獅子舞の後に登場しました「あさはたバンド」です。

老人ホームでの音楽演奏というと和太鼓や尺八、ハーモニカなどを想像されると思いますが、あさはたバンドはエレキギターやドラムなどの演奏と歌です。メンバーは未経験者から何十年の経験者までの職員五名。それぞれの思いを胸に昨年末に結成しました。バンドメンバー以外に年女で結成されたダンスユニットねずみーズが加わりにぎやかな舞台となりました。

選曲は入所者の皆さんの若かりし頃の1960年代グループサウンズのヒット曲の中から「亜麻色の髪の乙女」「バンバンバン」

「ブルーシャトウ」の3曲です。舞台の幕が上がり演奏が始まると、緊張していた顔が徐々にゆるみ二曲目の「バンバンバン」の時にはねずみーズのダンスに合わせ、大勢の入所者も一緒に体を動かしてリズムをとっていました。三曲目の「ブルーシャトウ」では曲に合わせて口ずさむ方が増え、会場はにぎやかに…。

そしてアンコールの声の広がり、ねずみーズのダンスと共にアンコールに応えました。

新春の集いに出演が決まってから練習を重ね、どんなに練習しても不安は残り、不安や緊張を抱えながら当日を迎えましたが、こんなにも喜んでいただき、笑顔をいただき、自信につながりました。

「また、演奏をして入所者さんと楽しみたい」とメンバー全員の感想でした。



麻機園 事務員 小野田武留

やさしさの中で笑顔が咲き揃う 社会福祉法人東桜会

「書き初めを行いました」



1月2日書初を行いました。会場に着くとまずはお手本選びから始めます。「今年はなんて書こうかな?」「簡単な字はどれかな?」と複数あるお手本の中から悩んで、実際に書いてみて「元旦」「子年」「新春」等を選びました。

いざ筆を持って書き始めると「うまく書けない」と言い何度も書き直す人、職員に「あんた、手伝って」と言い職員に手を借りる人等それぞれの書き初めを行いました。

書いた作品の中から、展示作品を1枚だけ選んで自分で選んでいただく際には「こっちかな?あっちかな?」と悩む姿が多くみられました。最後は「どれも一緒かな?」と言いながら自信作を選び、満足した顔で会場をあとにしました。

麻機園 寮母 鷺巣博子

☆ 「年末年始は賑やかに穏やかに」 ☆ ケアハウス「桜花」

新しい元号となって初めての年の瀬を迎え何かと慌ただしい中ですが入居者の皆様に素敵な音楽を楽しんでいただこうと「レディーゴー」様をお招きしました。職員も所属する女性グループでオカリナの演奏を聞かせてくださいました。素朴で温かなオカリナの音色はどこか懐かしくて癒されます。

唱歌や歌謡曲など聞きなじみのある曲を演奏していただき、それに合わせて歌いながら楽しみました。ハンドベルの演奏には入居者も参加しましたが皆様飲み込みが早いこと!とても上手にメロディーが奏でられ驚きです。「はい、赤!緑!」と声をかけあいながらハンドベルを振っていきながら賑やかで楽しい時間を過ごしました。

年が明けて令和2年正月。暖冬と言われ平年に比べて温かく、晴天に恵まれた三が日は、御節やお雑煮をいただきのんびりとした時間が流れました。

本年も健康で楽しく穏やかな一年でありますように。



ケアハウス桜花 相談員 佐藤勝洋



デイサービス通信～我らの人生これからだ～

12月16日曜日、中央特別支援学校高等部の皆様との交流会が行われ、高等部の生徒7名とデイサービス利用者との交流会を行いました。自己紹介のあと、歌「手紙～15の君へ」を披露していただきました。歌の前に3つの手話(手紙・僕・今を生きる)を教えていただき、生徒の皆さんの歌に合わせて、デイサービス利用者も一緒に手話をしたり、歌を口ずさんでいました。

ゲーム(じゃんけんキング・ぱくだんゲーム)で場の空気なごんだ後のフリートークでは話すことが大好きな生徒さんも多く自然と会話が盛り上がりました。

予定にはありませんでしたが、デイサービス利用者も交流会のお礼に「ふるさと」を歌いました。

あたたかな雰囲気の交流会となりました。



麻機園 デイサービス 望月昭子

やさしさの中で笑顔が咲き揃う 社会福祉法人東桜会